

産総研メガ・ソーラタウン全数調査の結果速報

太陽光発電研究センター・システムチーム池田一昭



研究背景

- ・太陽電池モジュール (mdl) の不具合・故障とは?
 - … 明確な定義がない
- ・不具合・不良をどのように調べれば良いのか?
 - … 確立された手法はない
- 調べた結果をどのように解釈すれば良いのか?
 - … 容易ではない

「漠然とした理解」「根拠のない定説」「安易な推測」により混沌としている

→ 整理整頓 が急務

(技術用語, 事象, 測定手法, 電磁気学的・物理学的解釈, etc.)



本研究の目的

- ・「約10年間の実運用を経た太陽光発電システム、モジュールの調査」をすることで、
 - システム, モジュールに発生している事象 (**イベント**) を把握する
 - 多様な<u>計測装置</u>を利用して,システムやモジュールの状態(**特性**)を把握する
 - ・ソーラーシミュレータ(屋内), IVカーブトレーサ(屋外)
 - ・エレクトロルミネッセンス観察装置(EL),赤外線カメラ(IR),カメラ(vsb)
 - ・電流・電圧測定器,絶縁抵抗測定器,配線路探査機
 - 「イベント」と「特性」の<u>相関</u>を明らかにする
 - ・太陽光発電システム, モジュールの「出力低下・故障」について,
 - 「定義」の確立につながる知見の獲得
 - 「**診断(観察・測定) 結果の正しい解釈**」につながる知見の獲得
 - 「診断手法」の考案・確立
 - 要因となる不具合・不良の「**発生および進展のメカニズム**」を解明



全数調査の概要

モジュール1枚ごとの外観および電気的特性を調査

(屋外) - 絶縁性診断

- バイパスルート&配線診断

- 熱画像観察(発電時)

(屋内) - IV 測定(標準・基準状態)

- エレクトロルミネッセンス測定 ・・・ EL測定システム

- 熱画像観察(順電流注入)

(屋内外) - 外観目視観察

絶縁抵抗測定器

配線路探査機

赤外線カメラ

・・・ ソーラーシミュレータ

・・・ 赤外線カメラ

目視、デジタルカメラ



エネルギーセンター <地上部>







調査の対象

産総研メガ・ソーラタウン(MST)





- PCS: **[4kW × 211台]** + [10kW × 14台] 869kW(2003年度設置) 160kW(既設)

・太陽電池モジュール数: **約5,600枚** + α

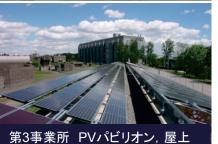
・2012年の年間発電量 = **859,000 kWh** + α < **340kWh / 月 / システム** >





第2事業所OSL 屋上, 壁面







MST モジュール



EC-TOP, -SL, 3-5

全 5592 枚

B社・多結晶 Si (Bm)

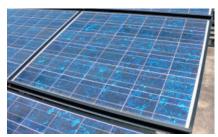
7社

A社・多結晶 Si

E社・多結晶 Si Z

(Am)

(Em)



OSL



EC-G, 3-5, 3-9

D社・多結晶 Si (Dm)

8型式

(Cs)

(La)

(As)

3-5, 7-3A, -3B, -3D, -4, -5, -6 (Fs)

F社・単結晶 Si



3-5



1-A, -B, 3-5



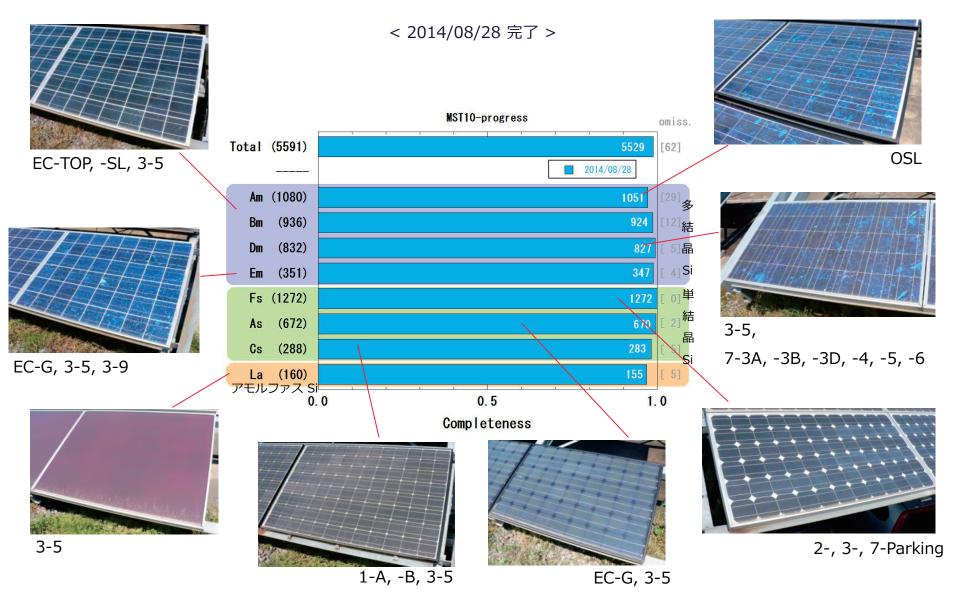
EC-G, 3-5



2-, 3-, 7-Parking

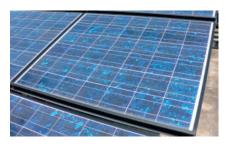


モジュール の 屋内測定数



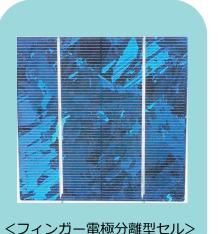
国立研究開発法人產業技術総合研究所





A社・多結晶 Si

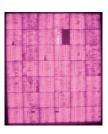
- ・インターコネクタの接続不備 : 50 mdls / 1080 mdls
 - {7n + 2}番セル : 49 mdls
 - 16番セル (n = 2) : 41 mdls → 発熱 → EVAの黄変, 剥離

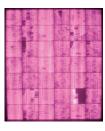


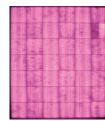








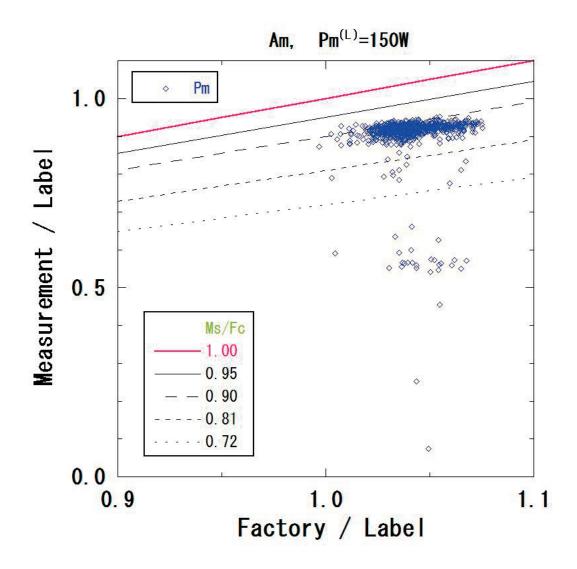




- ・バイパスルートの開放故障
 - 38 mdls (1-clst : 23, 2-clst : 7, 3-clst : 8)
- ・セル割れでスネイルトレイルが出現する
 - セル割れに沿ってEVAが透明に見えるタイプ
 - 10年目以降に顕著に出現
 - セル割れに沿って剥離も出現し始めた











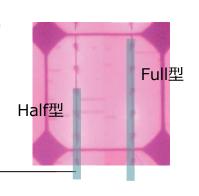
<フィンガー電極分離型セル>



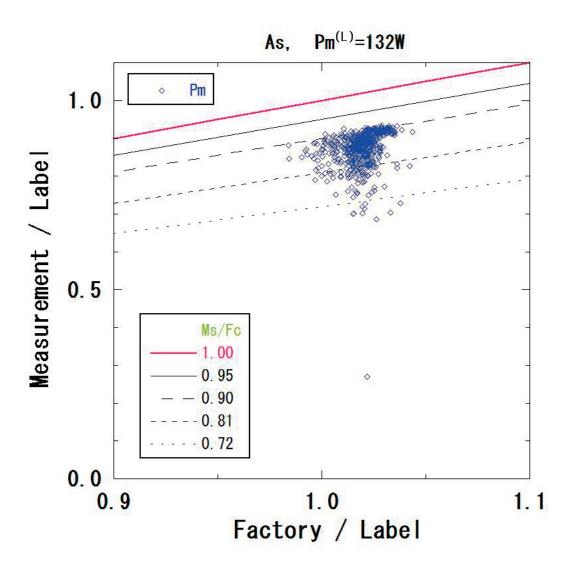
A社・単結晶 Si

- ・インターコネクタの接続不備 : 176 mdls / 672 mdls
 - セル位置は広く分布(若干の偏りあり)
 - 経年により増加している(と感じる)
 - 両側のインターコネクタ不備が発生 :
- → 発熱 → EVAの黄変, 剥離
- 2 mdls

- ・バイパスルート開放故障
 - 1 mdl (1-clst)
- ・セル割れでスネイルトレイルが出現する
 - セル割れに沿ってEVAが透明に見えるタイプ → 発熱 → EVAの黄変, 剥離
 - 5,6年目以降に顕著に出現
 - セル割れに沿って剥離も出現し始めた(10年目以降)
- ・裏面インターコネクタの仕様が2種類(Half型, Full型)
 - Half型のmdlはセル割れが顕著
- ・剥離 : 小規模が多数
 - EVAーセル,EVAーガラス







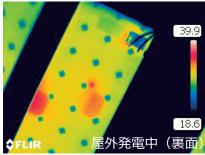




<フィンガー電極分離型セル>

F社・単結晶 Si

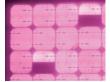
・インターコネクタの接続不良



- → BPR開放故障(短絡故障になったケース:1件)
- ・バイパスルートの開放故障:
 - 861 mdls / 1272 mdls (1-clst : 561, 2-clst : 271, 3-clst : 29)

屋内EL測定

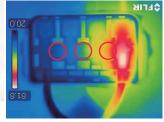
- ・裏面インターコネクタの仕様が2種類(Half型, Full型)
 - Half型のセル割れが顕著





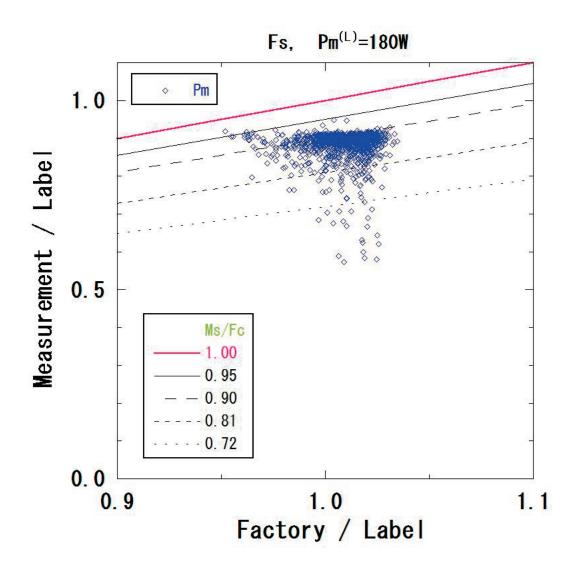
- ・端子箱の不良
 - ケーブル接続部の抵抗値増加 ----





・セル割れでもスネイルトレイルは出現しない









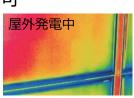
D社・多結晶 Si

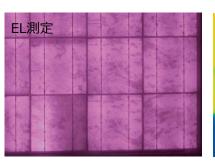
- ・バスバー発熱
 - 直列抵抗値が 100 mΩ 程度増加
- バスバー断線
 - 開放電圧値の減少 (高抵抗で繋がっている場合あり)
- ・スネイルトレイル
 - セル割れ a スネイルトレイル (EL) (外観)
 - 2色
 - ・黄:セル割れに沿ってEVAの変色
 - ・白:フィンガー電極周辺で

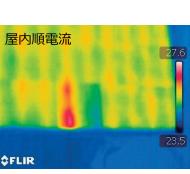
セル割れに沿ってセルーEVA間の剥離

屋外発電中

- ・2色が混在するモジュールは観察されていない
- ・インターコネクタの接続不良多数
 - 発電中は検出不可

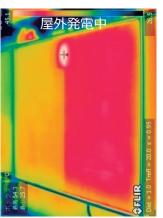


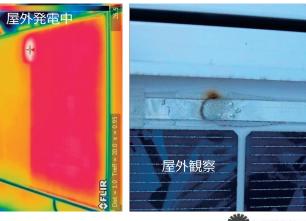


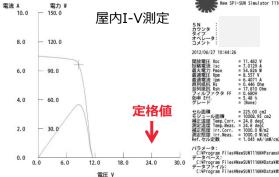




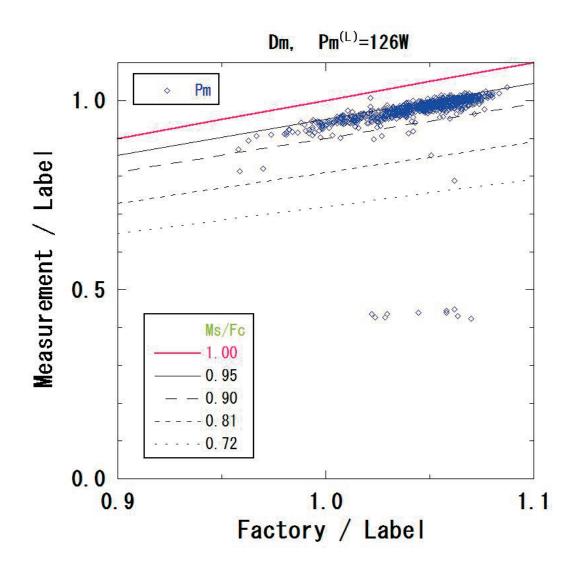










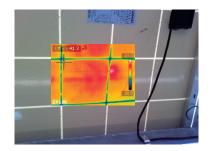




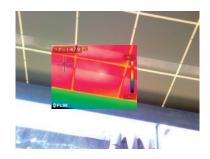


B社・多結晶 Si

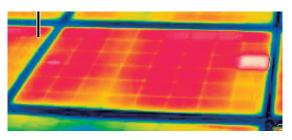
- ・外観的不具合は特になし
- ・インターコネクタの接続不備(と思われる): 数件



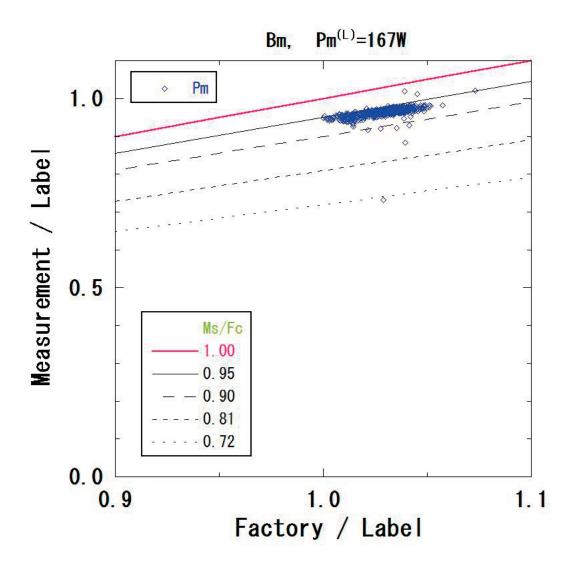
・セル割れに起因すると考えられる発熱



- ・924枚 中でホットセルを有するモジュール 1枚 が観察されている
 - セル割れによる電流不足に起因した逆バイアス電圧の印加





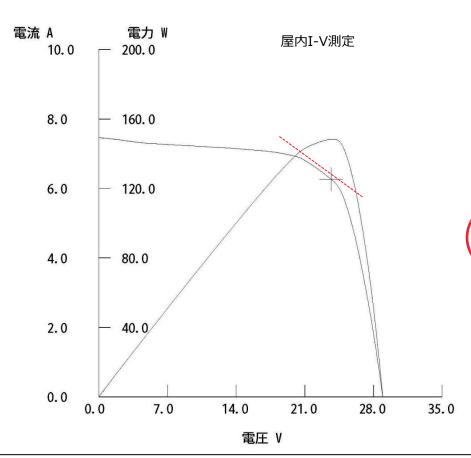


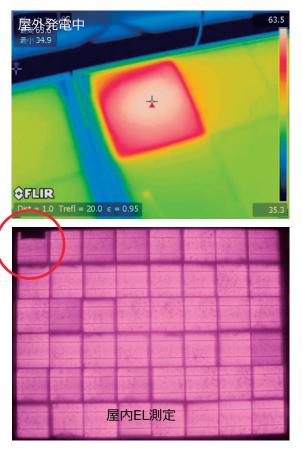




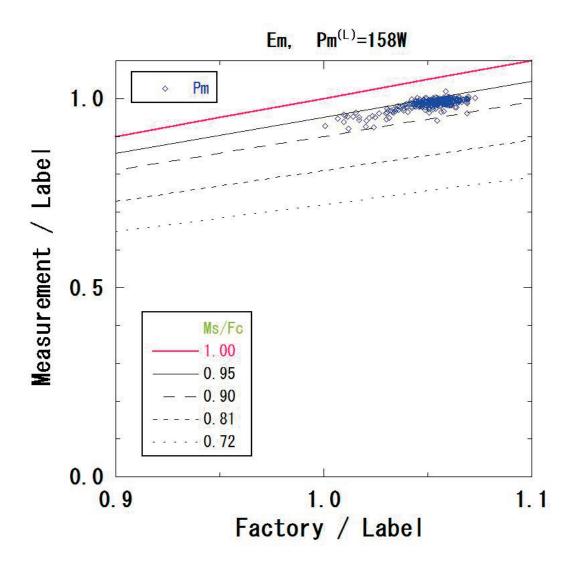
E社・多結晶 Si

- ・外観的不具合は特になし
- ・347枚 中でホットセルを有するモジュール 7枚 が観察されている セル割れによる電流不足に起因した逆バイアス電圧の印加













C社・単結晶 Si

- ・EVAーセル間の剥離(D_{FC})
 - フレームおよび端子箱の近傍のセルのみ



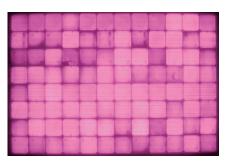




- ・フレーム,端子箱,およびBS裂傷部の近傍以外のEVAの黄変
- ・その他
 - 以前にホットセルだった箇所を含むクラスタでストリング断線
 - ホットセル: セル割れ や セル特性 に起因する電流不足による逆バイアス電圧

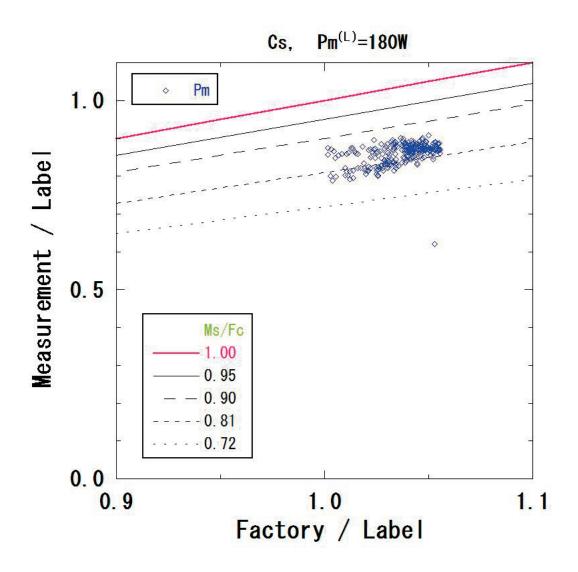






・電気的応答性に起因する測定誤差

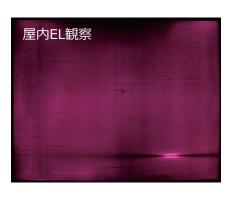






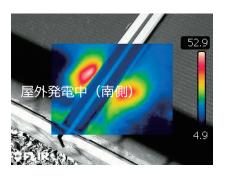


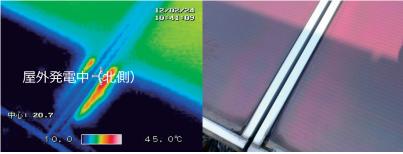




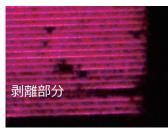
L社・アモルファス Si

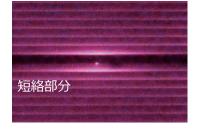
- ・剥離(薄膜ーガラス間?):冬期の陰の影響によると考えられる
 - 4段配列の一番下段のさらに下端近傍のみ(北側, 南側ともに)





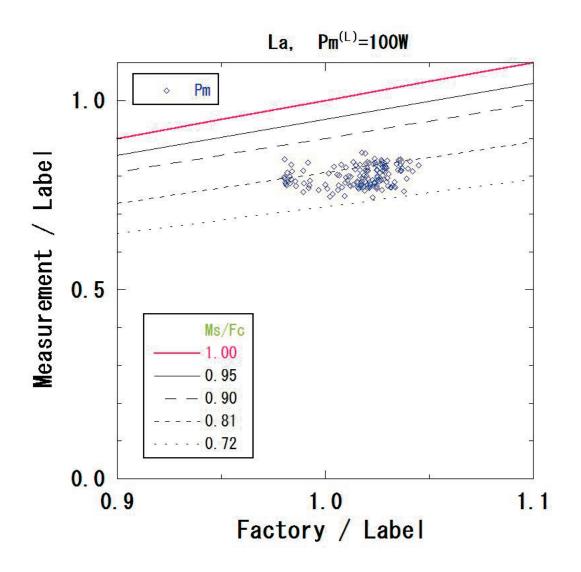
・EL観察により剥離部分と電極が短絡している箇所が観察できていた





- ・155枚 中でモジュール内断線 3枚 が観察されている
 - I-V測定も、EL測定も実施できなかった
 - 断線箇所の詳細はまだ調査していない
- ・屋内の順電流サーモグラフィである特定箇所の発熱が 多数枚 観察されている
- ・スペクトルミスマッチによる測定誤差







まとめと 今後

- ・産総研MSTの全数調査について
 - 屋内でのモジュール特性測定が完了
 - · IV測定, EL測定, 順電流IR(一部)
 - 屋外での測定
 - ・バイパスルート検査, モジュール内断線検査 : 完了
- ・結果はほぼ全てケーススタディ
 - 同形式のモジュールですら、仕様(特性)の異なるものがある
- ・特性値等の解析作業を進める 観察されているイベントとの定量的な相関の調査
- ・細部(症状や不具合の発生機構)に関する追加調査の実施
- ・「出力低下」「故障」「不具合」「不良」などの言葉の交通整理
- ・ストリングIV測定,モジュール観察・追加測定



共同研究者

加藤和彦・チーム長, 髙島工・主任研究員

謝辞

- ・本調査研究は,太陽光発電工学研究センターの運営費交付金により 実施されました.
- ・筑波大・長谷川渉さん、関口大介さん、中川航至さん、劉笑塵さん、 エスペック・鈴木聡さんには、屋内測定の実施においてご協力を いただきました。

心より感謝を申し上げます.